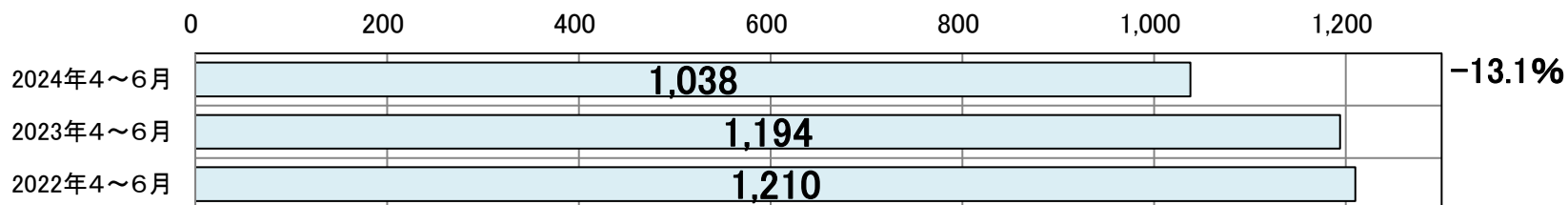


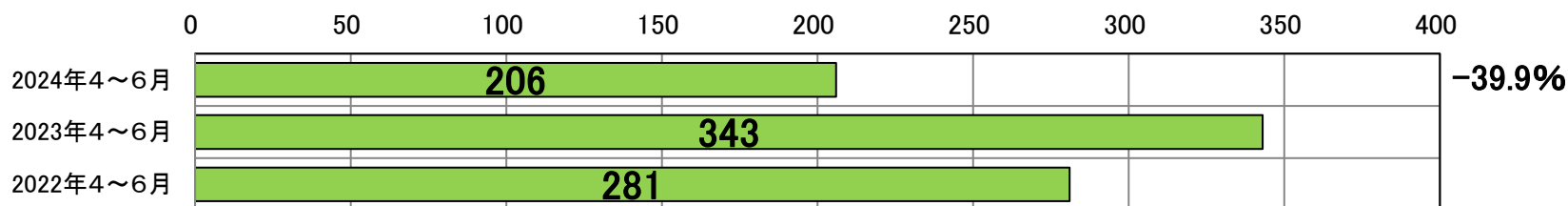
2024年度4～6月の相談、苦情、あっせんの状況について

1. 2024年度4～6月の相談、苦情、あっせん申立て件数

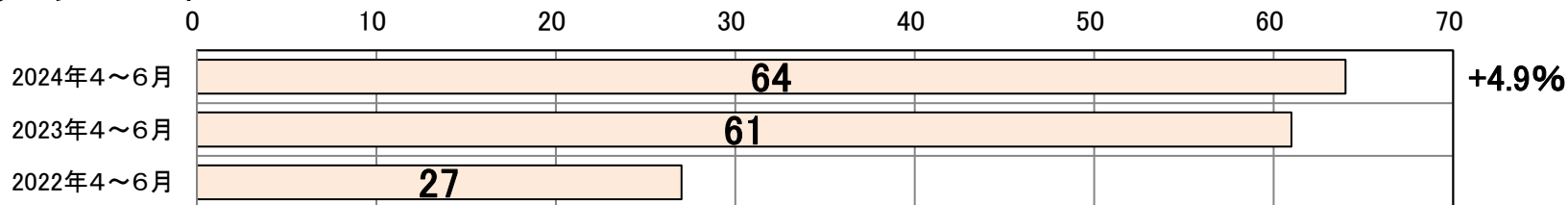
① 相談



② 苦情



③ あっせん申立て



概況：

前年同期に比べ、相談及び苦情の件数は大幅に減少（それぞれ-13.1%、-39.9%）したが、あっせん申立ての件数は僅かに増加（+4.9%）した。

2. 2024年度4～6月の相談、苦情、あっせん申立ての内容別内訳

① 相談

類 型	2024年4～6月		2023年4～6月	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
制度	339	32.7	386	32.3
うち証券会社	217	20.9	215	18.0
センター業務	51	4.9	81	6.8
取引税制	20	1.9	15	1.3
勧誘	44	4.2	129	10.8
うち説明義務	20	1.9	72	6.0
適合性	9	0.9	35	2.9
強引	10	1.0	15	1.3
売買取引	149	14.4	152	12.7
うち売買一般	48	4.6	70	5.9
取引制度	62	6.0	46	3.9
システム障害	17	1.6	3	0.3
事務処理	194	18.7	166	13.9
投資運用	5	0.5	4	0.3
投資助言	4	0.4	3	0.3
その他	303	29.2	354	29.6
合 計	1,038	100	1,194	100

概況：

事務処理に関する相談が増加（対前年比+28件・+16.9%）した。一方、勧誘に関する相談が大幅に減少（-85件・-65.9%）し、制度及び売買取引に関する相談も減少（対前年比はそれぞれ-47件・-12.2%、-3件・-2.0%）した。

その他には、当センターの対象業務ではない事項に関する相談を含む。

2. 2024年度4～6月の相談、苦情、あっせん申立ての内容別内訳

② 苦情

類 型	2024年4～6月		2023年4～6月	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
勧誘	73	35.4	202	58.9
うち説明義務	47	22.8	150	43.7
適合性	11	5.3	19	5.5
強引	5	2.4	17	5.0
売買取引	63	30.6	67	19.5
うち売買一般	15	7.3	26	7.6
取引制度	14	6.8	13	3.8
無断	11	5.3	11	3.2
事務処理	55	26.7	40	11.7
投資運用	1	0.5	1	0.3
投資助言	3	1.5	2	0.6
その他	11	5.3	31	9.0
合 計	206	100	343	100

③ あっせん申立て

類 型	2024年4～6月		2023年4～6月	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
勧誘	60	93.8	60	98.4
うち説明義務	48	75.0	44	72.1
適合性	9	14.1	8	13.1
断定的判断の提供	2	3.1	3	4.9
売買取引	4	6.3	1	1.6
うち無断売買	1	1.6	-	-
過当売買	1	1.6	-	-
その他	2	3.1	1	1.6
事務処理	-	-	-	-
投資運用	-	-	-	-
投資助言	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
合 計	64	100	61	100

概況：

苦情では「事務処理」に関するもの、勧誘時の「説明義務」に関するもの、売買取引における「売買一般」に関するものが多い状況であった。

あっせん申立てでは、勧誘時の「説明義務」に関するものが多い状況であった。

3. 2024年度4～6月の相談、苦情、あっせん申立ての商品別内訳

商品の種類	相談				苦情				あっせん申立て			
	2024年4～6月		2023年4～6月		2024年4～6月		2023年4～6月		2024年4～6月		2023年4～6月	
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
株式	280	27.0	249	20.9	74	35.9	74	21.6	2	3.1	2	3.3
債券(仕組債を除く)	44	4.2	83	7.0	10	4.9	53	15.5	5	7.8	2	3.3
仕組債	15	1.4	73	6.1	47	22.8	139	40.5	53	82.8	56	91.8
投資信託	77	7.4	141	11.8	27	13.1	32	9.3	2	3.1	-	-
有価証券デリバティブ	4	0.4	-	-	3	1.5	1	0.3	-	-	-	-
金融先物デリバティブ	31	3.0	26	2.2	15	7.3	6	1.7	1	1.6	-	-
CFD	1	0.1	4	0.3	3	1.5	4	1.2	-	-	-	-
その他のデリバティブ	1	0.1	2	0.2	-	-	1	0.3	-	-	1	1.6
暗号資産デリバティブ	-	-	2	0.2	-	-	1	0.3	-	-	-	-
商品関連デリバティブ	8	0.8	4	0.3	1	0.5	1	0.3	-	-	-	-
第2種関連商品	14	1.3	6	0.5	1	0.5	2	0.6	1	1.6	-	-
ラップ	2	0.2	6	0.5	2	1.0	-	-	-	-	-	-
先物オプション	3	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	558	53.8	598	50.1	23	11.2	29	8.5	-	-	-	-
合計	1,038	100	1,194	100	206	100	343	100	64	100	61	100

- ※1. 有価証券デリバティブは株価指数先物取引等です。金融先物デリバティブには、FX（外国為替証拠金取引）や通貨オプション取引を含みます。CFDは差金決済取引のうち主に株価指数証拠金取引に関するものです。その他のデリバティブには通貨スワップ取引や金利スワップ取引を含みます。第2種関連商品は集団投資スキーム取引等（匿名組合ファンドの募集等）を指します。
2. 当センターの対象業務ではない事項に関する相談も商品の種類に応じて分類しています。

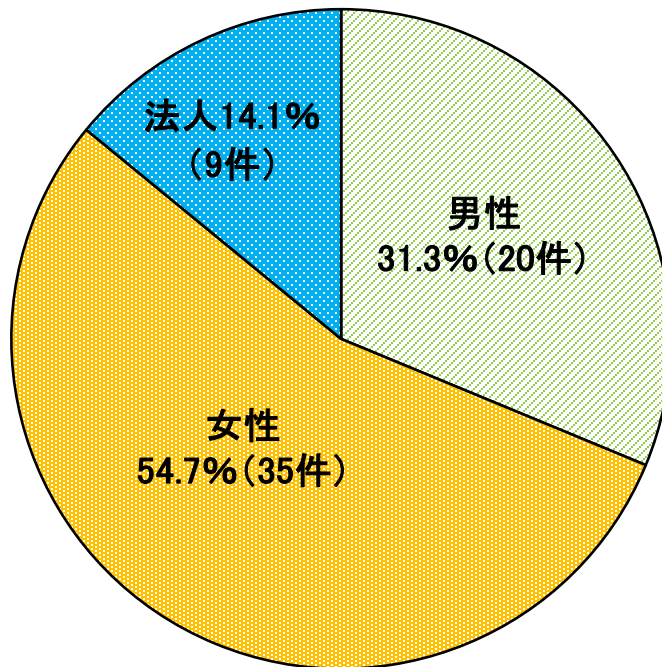
概況：

商品別の内訳では、相談及び苦情においては株式の割合が高く（それぞれ27.0%、35.9%）、あっせん申立てでは、債券のうち仕組債の割合が非常に高い状況（82.8%）であった。

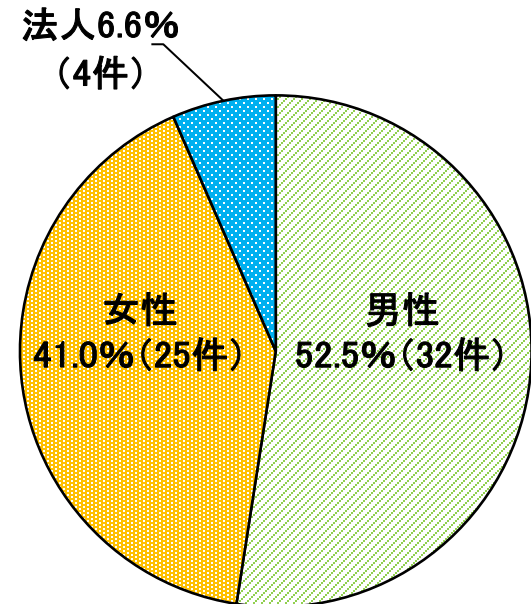
4. 2024年度4～6月のあっせん申立てについて

(1) あっせん申立者の個人(男/女)・法人別状況

< 2024年度4～6月(64件) >



< (参考)2023年度4～6月(61件) >



概況：

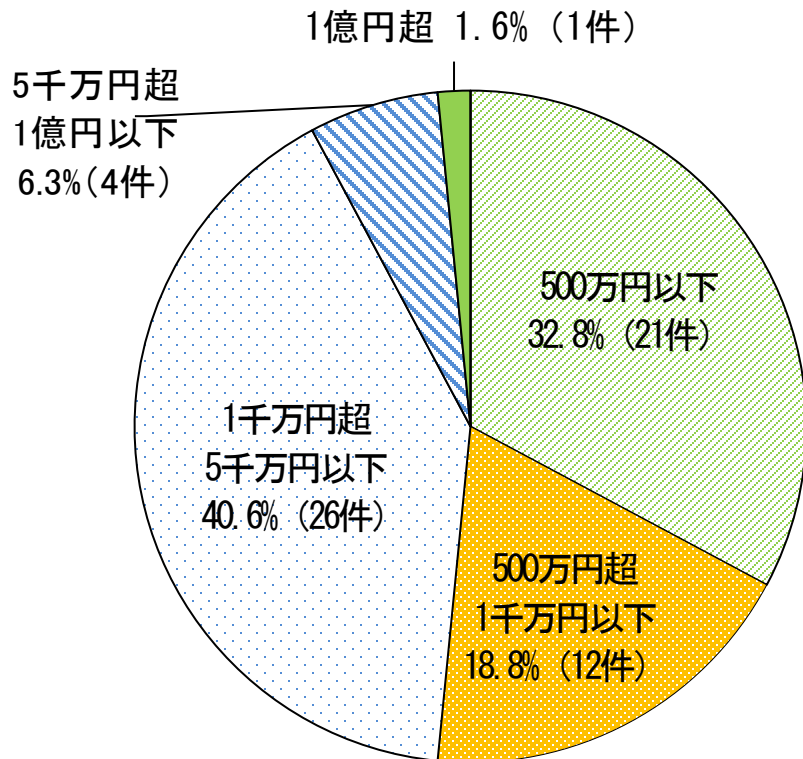
あっせん申立ての個人の内訳は、男性31.3%（20件）、女性54.7%（35件）となり、前年同期に比べて女性の割合が高くなった。

なお、法人は14.1%（9件）であった。

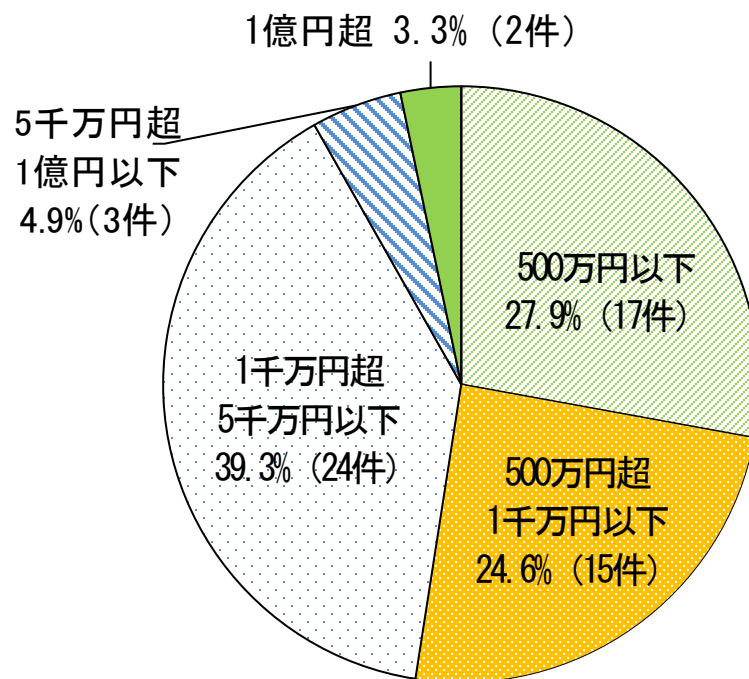
4. 2024年度4～6月のあっせん申立てについて

(2) あっせん申立てにおける請求金額

< 2024年度4～6月(64件) >



<(参考) 2023年度4～6月(61件)>



概況：

あっせん申立ての請求金額は、1千万円以下が51.6%（33件）を占め、「1千万円超5千万円以下」40.6%（26件）、「5千万円超1億円以下」6.3%（4件）、「1億円超」1.6%（1件）であった。なお、請求金額100万円以下は1.6%（1件）であった。

5. 2024年度4～6月のあっせん終結事案について

(1) 概況

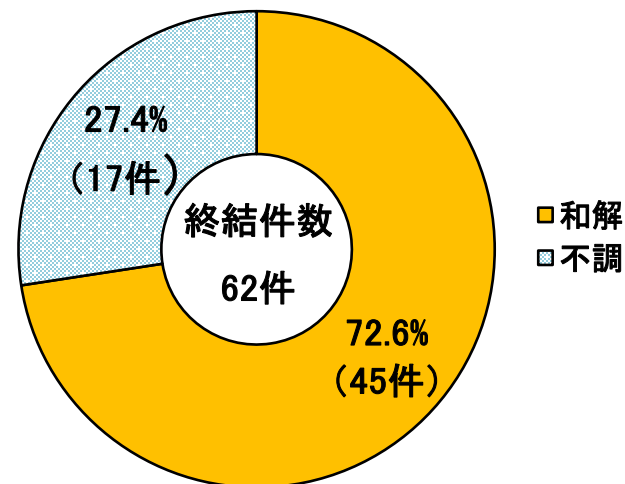
	2024年4～6月	2023年4～6月
期初未済件数	85	84
新規申立件数	64	61
終結件数	64(2)	61(3)
期末未済件数	85	84

※()内は取り下げ等の件数。

(2) あっせん開催回数(取り下げを除く)

	2024年4～6月 (62件)	2023年4～6月 (58件)
1回	56	51
2回	6	7
3回	-	-
4回	-	-
平均開催回数	1.10	1.12

(参考)終結結果



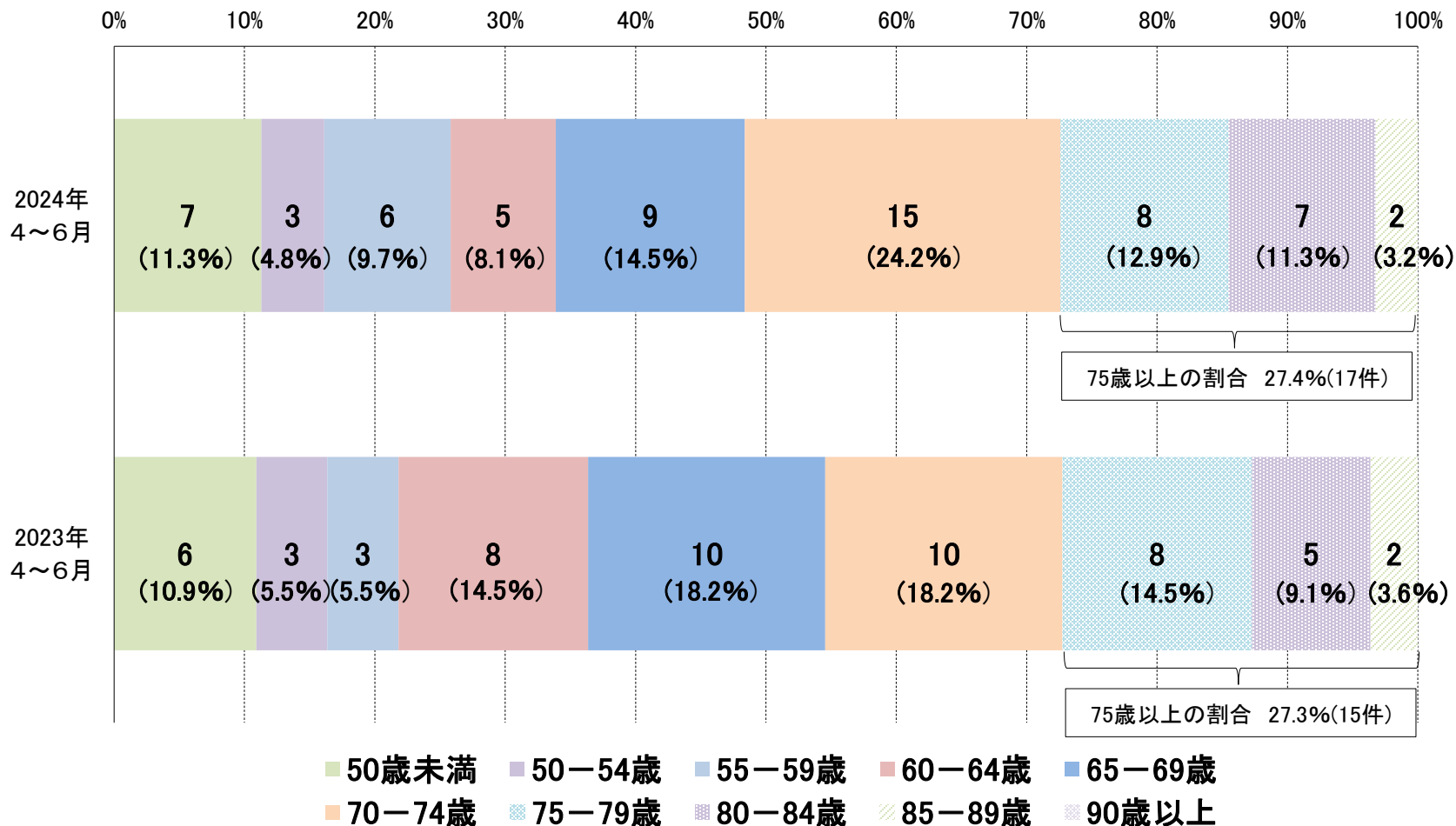
概況:

2024年4～6月に終結したあっせんの件数は合計62件(取り下げを除く)であり、和解した件数は45件、不調となった件数は17件で、終結件数に占める和解件数の割合(和解率)は72.6%(前年同期70.7%)であった。

あっせん開催回数は、1回の事案56件、2回の事案6件、平均開催回数は1.10回(前年同期1.12回)であった。

5. 2024年度4～6月（法人を除く62件）のあっせん終結事案について

(3) 年齢別内訳



概況：

2024年4～6月の終結事案（個人62件）における申立人のうち、75歳以上の高齢者の割合は27.4%（前年同期は27.3%、15件）であった。